

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○1月27日～

先週末から中国は春節で連休入りとなっていますがコロナウイルスの拡散が心配です。すでに中国以外の国にも広がっており、SARSの時のようにマーケットにも影響が出そうです。上海市場は30日まで休場です。

英国のEU離脱の影響などリスク要因がかなりあることや、8月から上昇してきた株価の調整が入りやすい時期にきていることもあり、大きな調整があるかもしれません。

<ドル/円>

ドル/円は108円台で下げ止まらず、年初安値の107.6円を割り込むと円高が進みそうです。上値は、109.7円を超えるまでは下値不安が続きそうです。

<気になるクロス円>

クロス円も反落して下げてきました。ユーロは120円を割り込むとチャートの形が崩れてきそうです。

豪ドル、カナダドルなど資源国通貨も8月安値からの週足の上昇トレンドが崩れれば下げが加速しそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では1月東京都都区消費者物価指数、鋳工業生産などがあります。米国では新築住宅販売件数、耐久財受注、1月ケース・シラー米住宅価格指数、リッチモンド連銀製造業指数、FOMC政策金利、パウエル（FRB議長）定例記者会見、10-12月期GDP（速報値）、12月個人消費支出、シカゴ購買部協会景気指数、ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツとユーロ圏で消費者物価指数、ドイツでIFO景況感指数、小売売上高、ユーロ圏で10-12月期GDP（速報値）などがあります。

ほかには、英国で政策金利、中銀資産買取プログラム規模、英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨の発表などがあります。